

【国分寺西小学校における児童数・学級数の推移】

は複式学級 単位：人

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
25	9	8	5	10	15	15	62
26	4	9	8	5	10	15	51
27	7	4	9	8	5	10	43
28	1	7	4	9	8	5	34
29	5	1	7	4	9	8	34
30	6	5	1	7	4	9	32
31	4	6	5	1	7	4	27

() は複式学級数 単位：学級

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
25	1	1	(1)		1	1	5
26	1	1	(1)		1	1	5
27	1	1	1	1	(1)		5
28	(1)		(1)		(1)		3
29	(1)		(1)		1	1	4
30	1	1	(1)		(1)		4
31	1	1	(1)		(1)		4

※複式学級は国の現行学級編成基準
16人(小1を含む場合は8人以下)による。

を共に検討し、受け入れ体制の支援を行います。

《長期的な取り組み》
小規模特認校制度が導入された後の実施状況を踏まえて、長期的見地から将来像の検討を行います。

○学校の取り組み
・柱となる教育方針を定め、長期的に実施継続していきます。
・特色づくりについての効果等について検証を行います。
・新たな教育活動の取り組みについて、地域の意見を取り入れて推進します。

○教育委員会の取り組み
・小規模特認校制度の実施状況を踏まえながら、将来を見据えた学校教育の方向性を地域と協議し、定期的に検証します。



(2) 将来的に小中一貫教育の推進を図る学校区

**薬師寺小学校
吉田東小学校
吉田西小学校**

南河内中学校区における小規模校の小中一貫教育の推進

「学校適正配置答申」で提案された通学区域については、地域の意見を踏まえて変更は行わないものとします。

なお、小規模校である薬師寺小学校・吉田東小学校・吉田西小学校の3校においては、地域のまとまりを重視した中学校区単位での学校のあり方や教育環境について、協議を進めていきます。

《当面の取り組み》

3つの小学校が南河内中学校区であるという特性を生かし、小中連携教育としての交流事業を進めます。

○学校の取り組み
・3小学校間の交流事業を増やし、小学校間の連携を積極的に進めます。

・小・中学校間の交流授業を計画的に行い、小中連携教育の充実に努めます。

○教育委員会の取り組み
・小中連携教育が円滑に推進できる



よう、指導及び支援を行います。

《長期的な取り組み》
小中連携教育の実施状況及び地域の意見を踏まえ、教育振興に関する協議会を設置して、南河内中学校との小中一貫校を視野に入れた薬師寺小学校・吉田東小学校・吉田西小学校の学校のあり方を検討します。

○学校の取り組み
・義務教育9年間を見通し、児童生徒の発達段階に応じた活動や合同学習等を実施し、更なる研究を進めていきます。
・小・中学校の教員交流や合同研究会を推進し、小中一貫教育についての研究を行います。

○教育委員会の取り組み
・教育振興に関する協議会を設置し、関係委員を交えて小中一貫教育について検討し、その方向性を示します。